

カリキュラム

機構施設名：和歌山職業能力開発促進センター
実施機関名：一般社団法人 中部産業連盟

A. 生産管理		品質管理基本	
品質保証・管理手法			
コースのねらい		品質管理の考え方を理解し、QC7つ道具を使って課題への対処ができる知識と技能を習得する	
	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 品質管理の考え方	(1) QCとは	1.5
		QCとは事実に基づく管理であり勘や経験に頼るものではない。そのために正しいデーターを取り事実を確認することが重要であることを解説	
		(2) 品質の対象	
		品質の対象は部品・製品だけでなくサービスや業務プロセスも対象となる。実際に発生した品質トラブルを題材に認識を深める【ワーク】	
		(3) SDCAとPDCA	
		ものづくりの現場は「決める」「守る」「改善する」ことが重要。これをSDCAとPDCAの視点から解説する。【ワーク】	
		(4) 良品条件	
		良品条件とは何か？具体的に何を指すのかを解説する	
	2 QC7つ道具	(5) QC工程図 作業手順書 チェックシート	3.5
		良品条件を落とし込み、良品を生産し続けるための3つの道具について解説する	
		(1) QC7つ道具とは	1.0
		QC7つ道具(パレート図、特性要因図、ヒストグラム、グラフ、チェックシート、散布図、管理図、および層別)について要点明瞭に解説する【ワーク】	
		(2) QC的問題解決(QCストーリー)	
		QCストーリーは問題発見・解決のための有効な「方法」「型」である。この型に沿って進めることで効率的な問題解決につながることを学ぶ【演習】	
		(3) 品質向上のための考え方	6.0
		・三現主義(現地・現物・現実) ・自工程完結 ・時々刻々 一点一点 ・変化点管理 ・なぜなぜ分析	

カリキュラム作成のポイント

問題発見・問題解決に有効なQC7つ道具とQCストーリーを「わかりやすく」「楽しみながら」学んでいただく。そのため一方的な講義スタイルは取らず、座学＋グループワーク＋演習により、皆が主体的に参加できるような構成にしている。また実際の企業の事例などを紹介し、具体的なイメージを持っていただくようにする

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
・特になし	・PC持参
●使用するテキスト	●その他
・オリジナルテキスト	
利用事業主に用意を求める機器等	
・プロジェクター、スクリーン(白い壁面でも可) ・ホワイトボード、ホワイトボードマーカー	備考 ・研修教材は持参・机の配置はグループ島形式